

令和4年度 公益財団法人日立地区産業支援センター

事業報告書



令和4年度 事業報告書

内閣府が発表した月例経済報告（令和5年4月）における日本経済の基調判断によると「景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」としています。

日本銀行水戸事務所が発表した茨城県金融経済概況（令和4年5月）による県内の景気は「資源高や海外経済減速の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症の感染抑制と経済活動の両立が進むもとの、基調としては持ち直している」としています。新型コロナウイルス感染症が徐々に収束に向かっていく中、本地域においても、地域中小企業を取り巻く環境に変化が生じるため、引き続き注視しながら、効果的な支援を行っていく必要があると考えております。

このような中、国内経済に大きな影響を与える要因の一つとして、エネルギー価格や原材料費、人件費の高騰が挙げられています。国においては事業者への負担軽減に係る支援や省エネ・再エネの普及に向けた設備導入等に係る支援などを実施しております。日立市においても「日立市中小企業等エネルギー価格高騰対策事業支援金」を実施し、地域中小企業等のエネルギー経費負担の軽減を図っています。

令和4年度、当財団では地域中小企業がウィズ／アフターコロナを見据えより成長できるよう、様々な支援を実施して参りました。特に、コロナ渦において一般的となったデジタル技術の活用をより促進し、自社で対応可能なデジタル化を図ることによるDX支援や、国の目標とする「2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロ」によって求められる脱炭素化に関し、機運を高めるためのセミナー、また脱炭素化に取り組む第一歩として自社のエネルギー消費状況の見える化を図る「省エネルギー診断」の受診を支援し、地域中小企業が変化に取り残されないための支援を重点的に実施して参りました。

また、令和2年度から茨城県の委託により実施した県北地域牽引産業・中核企業創出事業では、茨城大学、茨城工業高等専門学校等と連携したインターンシップや、産学官連携による共同研究の推進、大手企業等と連携した金属3Dプリンターの活用など関係機関との連携強化も図っております。加えて、令和4年11月に、日立市、常陸太田市及び大子町と関東経済産業局との間で締結した「産業振興・経済活性化に向けた包括的連携に関する覚書(MOU※1)」に伴い更に支援エリアを拡大し、地域企業に対しエリアを超えて、より柔軟かつスピーディな支援を行えるような体制構築して参りました。

引き続き、地域企業の成長及び活性化を支援すべく、様々な産業支援策を効果的かつ効率的に展開してまいります。

※¹MOU : **M**emorandum **O**f **U**nderstanding (覚書)

令和4年度重点事業

1 中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）促進事業 【競争力強化】 《日立市委託事業》[MOU対象事業]

茨城県DX推進ラボ、ITコーディネーター茨城などと連携し、中小企業の生産性向上を図るため、ものづくりを中心とした中小企業のDXの取組を支援しました。

具体的には、DXを推進するにあたっての第一歩として、各社の課題を明確化し対応方針を導き出すために、IoTコーディネーターによるIoT導入診断を実施しました。その後、各社ごとに異なる課題に対し、必須となるデジタル機器やソフトの導入の検討・支援を行ない、システム立ち上げから実証までの取組をハンズオンで支援し、社内でのDX体制強化を図りました。

また、セミナーの開催や支援企業からの事例発表などのDXに関する勉強会を実施し、DX化に取り組む際の敷居を下げるとともに、成功事例の波及を促進しました。

(1) IoT導入診断・ハンズオン支援

中小企業の課題解決を図るため、IoTコーディネーターによる、IoT導入に係る検討・支援を実施しました。

企業名	テーマ	主な取組内容
(株)ダイニクロ	溶接現場におけるムダ時間の見える化	高精度測位システムを溶接現場の天井に設置し、作業者の作業内容を「見える化」
小松水産(株)	生産現場の見える化	ワンボードコンピューターを活用し、製品の重量選別機加工状況（生産量、不良数発生状況等）を「見える化」
(株)大和電機製作所	モータ設備の遠隔見守りサービス	振動センサーを活用し、顧客へ納品した自社製造モーター設備の遠隔見守りサービスを試験的に運用
(株)瀬谷製作所	不良低減のための製造方法の確立	予測AIを活用し、製品の不良発生に係る原因の特定方法を検証
アイガ電子工業(株)	サーバー活用スキルの習得及び電力使用状況監視	ワンボードコンピューターを活用し、自社の電力使用状況を「見える化」
イイダ電子(株)	部署間のやり取りのデジタル化	業務改善クラウドシステムを活用し、部署間の図面や書類のやり取り状況を検証
(株)今橋製作所	工具・消耗品の入出庫管理のデジタル化	業務改善クラウドシステムを活用し、デジタル形式で工具・消耗品の在庫量を管理
(株)小澤鐵工所	外観検査の省力化	AIツールを活用し、製品の良否判定を行う外観検査システムを試作（次頁に画像あり）
(株)タンゲ製作所	プレス設備の稼働及び工場内の電力使用量監視	振動センサーなどを活用し、材料残量の感知などプレス設備の稼働状況を監視

令和4年度重点事業



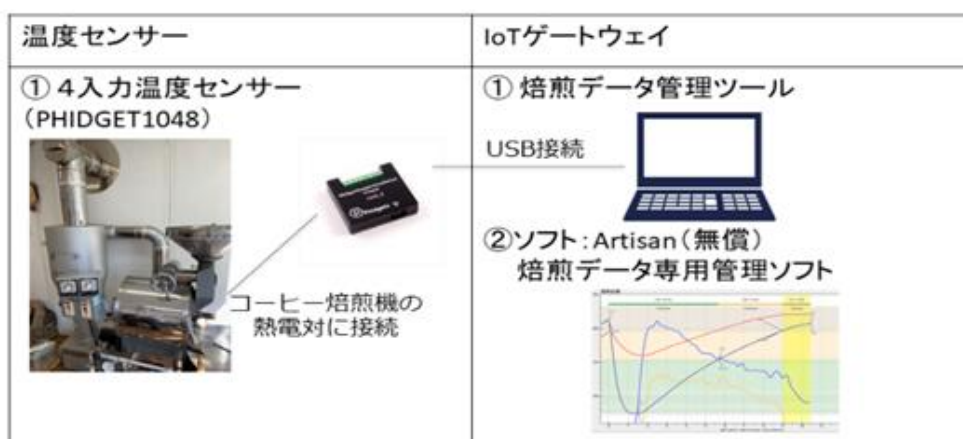
試作したAI外観検査システム

(2) IoTツール導入・DX促進実証実験等補助金

自社の課題解決に必要なIoTツールの導入に係る経費及び、DX促進を目指す実証実験の取組に係る経費に対する補助を実施しました。

企業名	導入したツール・主な取組内容	補助額
(株)ただいま	温度センサーを導入して、コーヒー豆焙煎機の温度管理を自動化し、焙煎温度と時間に係るノウハウをデータとして蓄積	35,000 円
吉野電業(株)	ワンボードコンピューターを導入して、乾燥機の温度変化による不良発生原因を特定し、異常を検知	83,000 円
BEST2AIMS(株)	ドローンを活用した、りんごの人工授粉に係る実証実験の準備及び最も適切な人工授粉方法の検討 (基準局アンテナ (RTK) 設置、ダウンウォッシュ基礎実験装置作成、人工授粉試験機作成)	500,000 円
合計		618,000 円

システム構成



(株)ただいまの焙煎機温度管理システム構成図

令和4年度重点事業

(3) I o Tに対する知識や理解を深める機会の提供

中小企業がI o T活用に対する具体的なイメージを持ち、I o T導入に際しての敷居を低くすることを目的として、I o T導入及び活用に係る先進事例の発表等を実施しました。

実施日	タイトル・内容	参加者数
令和4年7月21日	「中小企業DX促進セミナー」 生産管理システムの自社開発など、(株)今野製作所の事例発表を中心として、中小企業のDX促進に係るポイントを紹介	59名 (26社)
令和4年8月5日	「先進企業見学会①」 現場の見える化や業務部署間のデータ連携等について、(株)幸田商店による事例発表及び現場見学を実施	9名 (4社)
令和4年9月29日	「中小企業I o Tシステム構築ツール勉強会①」 中小企業が導入しやすい安価なツールを用いた、I o Tシステム構築に係る実践演習を実施	21名 (13社)
令和4年12月1日	「先進企業見学会②」 7月に事例発表を実施した(株)今野製作所とのI o T活用に係るディスカッション及び現場見学を実施	11名 (5社)
令和5年1月20日	「中小企業I o Tシステム構築ツール勉強会②」 中小企業が導入しやすい安価なツールを用いた、I o Tシステム構築に係る実践演習を実施	12名 (11社)
令和5年3月10日	「I o T導入事例報告会」 本事業で支援した中小企業による導入事例の報告を実施	49名 (30社)

(4) I T活用研究会

中小企業の経営者やI T担当者等を対象にした研究会活動を実施し、I T活用による自社の課題解決を目指すとともに、参加企業間の情報交換及び情報共有を行い、I Tの効率的な活用による企業体質強化を促進しました。(参加企業：4社)

企業名	テーマ
(株)今橋製作所	生産性向上のためのローコストDXツールの選定と効果検証
(株)三友製作所	I o Tの更なる活用、社内セキュリティ向上及び次期I Tインフラ構成の検討
(株)西野精器製作所	チャットbotを活用した業務改善
水木木材工業(株)	木材供給部の監視



I T活用研究会の様子

令和4年度重点事業

2 中小企業の脱炭素化促進事業【競争力強化】[MOU対象事業]

地球温暖化対策として、2050年までにCO₂排出量の大幅削減によるカーボンニュートラルの実現が求められる中で、中小企業が脱炭素化の潮流に対応していけるよう、当財団内に脱炭素経営の相談窓口を開設し、脱炭素化の入口として省エネ診断の取組を促進しました。

また、日立市中小企業脱炭素経営促進コンソーシアムに参画し、茨城県や金融機関、大学等とも連携して、脱炭素に係る情報収集及び当財団の支援施策や取組状況についての情報発信を実施しました。

(1) 相談窓口の設置

当センター内に相談窓口を設置し、脱炭素化に係る中小企業への相談対応を実施しました。

開設期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

相談内容	相談件数
省エネルギー診断の問合せ	26件
設備更新に関する照会	3件
省エネルギーに関する照会(企業への説明)	65件
再エネルギーに関する照会	3件
見える化システムに関する照会	6件
合計	103件

(2) 関係団体、企業での説明会の実施

企業協同組合や商工会議所の会議体及び個別企業を訪問し、脱炭素経営に関する説明と支援内容の説明等を行いました。

ア 関係団体での実施 6件(久慈鉄工協同組合、国分協同組合、日立鉄工会、日立南工業団地協同組合、日立商工会議所)

イ 企業での実施 1件(三友製作所)

(3) 脱炭素化促進アドバイザー(専門家)の配置 1人

(一社)エネルギー総合工学研究所 エネルギー技術情報センター長 茶木 雅夫 氏

※ 委嘱期間 令和4年4月20日～令和5年3月31日

内容	件数
企業への脱炭素経営に関する説明会	1回
日立市中小企業脱炭素経営促進コンソーシアムへの参加	4回
中小企業脱炭素化促進事業に関する打合せ	3回
合計	8回



専門家による脱炭素経営に関する説明会の様子

令和4年度重点事業

(4) ポータルサイトの開設

当財団ホームページ内に専用のポータルサイトを開設し、セミナー開催等、中小企業の脱炭素化に係る支援施策の情報を発信しました。

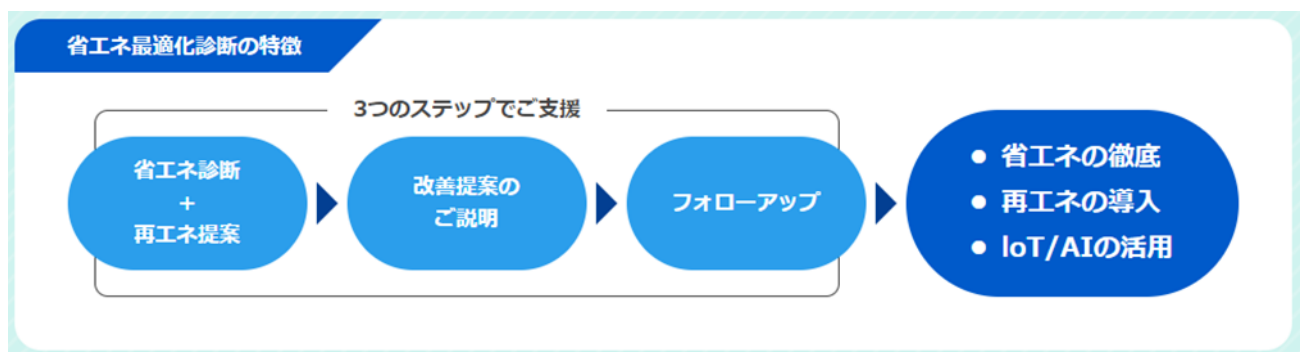
(5) オンラインセミナーの開催

地域中小企業の脱炭素への情報共有及び機運醸成のため、オンラインセミナーを開催しました。

開催日	タイトル・内容	参加者数
令和4年5月19日	「省エネ最適化診断セミナー」 (一財)省エネルギーセンターが実施する省エネ最適化診断及び当該診断に係る費用に対する当財団の助成事業について説明	12名
令和4年9月2日	「脱炭素化セミナー」 中小企業が取り組むべき脱炭素化の概要及び省エネ最適化診断による改善事例について説明	6名

(6) 省エネ最適化診断の推進

(一財)省エネルギーセンターが実施する、省エネ最適化診断に係る費用に対する助成金制度を創設し、中小企業の受診を促進しました。



省エネ最適化診断の流れ



省エネ最適化診断の様子

令和4年度重点事業

3 県北地域牽引産業・中核企業創出事業《茨城県委託事業》

大手企業の事業再編や世界的な脱炭素化の潮流など、社会経済環境が目まぐるしく変化を続ける中で、中小企業は、技術開発等の取組実施により競争力を向上させ、受注を確保していく必要性に迫られています。

そうした状況を踏まえ、当財団では、技術開発や共同研究に積極的な県北地域の中小企業に対して、産学連携等による研究開発人材の確保を図るため、大学との技術開発・共同研究や企業と大学の研究開発人材との交流等を促進し、相互の連携環境の構築を図る事業を推進しました。

(1) 地域中小企業と研究開発人材との人材交流のためのインターンシップマッチング

茨城大学及び茨城工業高等専門学校と連携し、学生に対する県北地域中小企業の情報や魅力の発信を行うとともに、県北地域中小企業へのインターンシップ等を実施することにより、県北地域中小企業と大学等の人材交流の活性化を支援しました。

ア インターンシップマッチング

茨城大学等と連携し、学生の県北地域中小企業へのインターンシップ等を仲介しました。

参加人数	受入企業数	うち参加企業への就職者数
40名	16社	1名

イ オンライン個別相談会

中小企業に関心がある学生に対してオンライン相談窓口を開設し、インターンシップ及び企業見学会の情報発信に加え、学生の意見を聞く機会の確保を図りました。(相談件数2件)

ウ 学生を対象としたインターンシップ説明会の開催（オンライン）

茨城大学等と連携し、翌年卒業を控える学生を対象として、中小企業の出展によるインターンシップ合同説明会をオンラインで開催しました。

開催日	参加人数	出展企業数
令和4年7月14日	27名	11社

エ 企業向けセミナーの開催

開催日	参加者数	登壇者	内容
令和5年3月14日	16名	榎三友製作所 加藤木 真紀 氏 榎神戸工業試験場 富岡 陽祐 氏 茨城大学工学部キャリア支援室 見田 洋子 氏	インターンシップ受入企業2社と茨城大学キャリア支援室担当者によるパネルディスカッション及び懇談会の形式で開催

令和4年度重点事業

(2) 産学官連携研究開発補助

県北地域の中小企業者が行う、大学等と連携した研究開発等の取組に要する経費に対して補助金を交付することにより、県北地域経済を牽引する産業及び中核企業の創出を図りました。

(補助率 10/10、補助上限額 80 万円、補助金交付企業数 10 社)

申請企業名・共同研究先機関名	テーマ
(株)大貫工業所・茨城大学	多結晶ダイヤモンド成膜プレス金型の耐久性向上
(株)今橋製作所・茨城高専	カメラ等を用いた MC ツールマガジン管理による既存設備のDX対応
S.P. エンジニアリング(株)・茨城大学	液面波形検出法による設備異常検知技術に係る研究
(株)フロンティア・茨城大学	素材へのダメージを抑制し自動車用ヘッドライトの透明性を復元する画期的なクリーナーの開発
(株)日港製作所・茨城大学	ラジアルギャップ型鉄アモルファスモータ開発
JPC(株)・茨城大学	介護情報の自動登録を実現するためのデバイス制作
(株)三友製作所・茨城大学	高密度プラズマガンの開発
(株)カドワキ・茨城大学	スプライン歯車の転造加工における未処理剤及び調質材の組成解析による加工精度向上の解明
(株)中村工業所・茨城大学	鉄アモルファス材モータステータのレーザ溶接開発
(株)ベジタブルテック・茨城大学	植物工場での播種から収穫までのレタス中栄養成分変化に及ぼす省エネプロセス条件の最適化研究

(3) AM事業研究会

新しい価値とカタチをつくるモノづくりの革新技術として注目されているAM※技術を活用した事業化を目指し、三菱重工業(株)日立工場に整備されているAM関連施設「AM-Zone」を活用して、中小企業と連携した用途開拓、試作品開発などを推進しました。(会員企業数 28 社)

※ AM (Additive Manufacturing) : 3Dプリンティングなどの積層造形技術を用いた製造方式

ア 情報発信及び企業開拓

AM-Zone 見学会及びセミナーを開催し、事業に関心のある企業の発掘を行うとともに、最新の金属積層造形技術情報を発信しました。

開催日	区分	参加者数
令和4年7月26日	見学会	10名
令和4年7月29日	セミナー	27名
令和4年11月16日	セミナー	29名
令和4年12月9日	見学会	8名
令和5年3月27日	セミナー	27名

令和4年度重点事業

イ 他地域のコンソーシアムとの連携

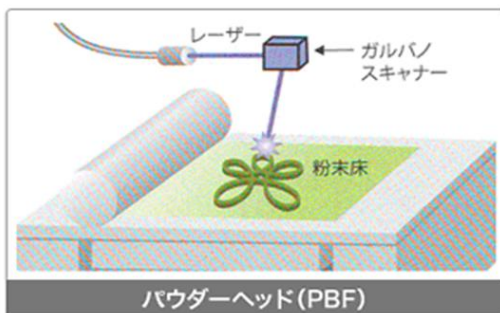
AM技術の活用を目指す国内各地域との交流及び情報交換を実施しました。

交流先	開催日	内容
群馬積層造形プラットフォームフォーム	令和4年4月16日	ミシュランAMアトリエ開所式
	令和4年12月13日	事業紹介・情報交換
	令和5年3月27日	セミナー講演
大田区産業振興協会	令和4年4月20日	事業紹介・情報交換
	令和4年10月20日～21日	おおた研究開発フェア出展
AM研究会(日本金属学会産学協創研究会)	令和4年8月29日	AM研究会キックオフ
	令和5年1月20日	第2回ミーティング
	令和5年3月14日	第3回委員会

ウ 造形試作

自動車・鉄道・航空宇宙の分野で新しい接合技術として注目される摩擦攪拌接合（F S W : Friction Stir Welding）に用いられるツールを試作し、各種金属材料の接合試験と評価を行うことにより、高付加価値なF S Wツールによる当地域でのビジネスモデル構築の可能性を検討しました。

協力企業等	(株)真壁技研、(株)共和プリサイスマニファクチャリング、(株)ダイイチ・ファブ・テック、(株)小野瀬製作所、茨城県産業技術イノベーションセンター
-------	---



AM（3D積層造形）イメージ図



F S Wツール



F S Wツールで接合した材料

1 人材育成・確保に関する事業

(1) 経営マインドの醸成

ア 若手経営者等人材育成（経営者向け）

社会経済情勢の変化に対応できる実践力を醸成するため、県内外の若手経営者及び後継者を対象に、一橋大学名誉教授関満博氏を塾頭とする自主運営・課題研究解決型の人材育成塾（ひたち立志塾）を推進しました。（塾生 73 名）

(ア) 実施内容

a 総会 1回

b 全体会 4回

開催日	会場	内容
令和4年6月4日	日立オリジンパーク	令和4年度開塾式
令和4年9月12日	ホテルテラスザスクエア日立	講演会(そらえ・斎藤氏)
令和5年1月25日	久慈サンピア日立	講演会(茨城県警察本部)、14期生活動・中間報告
令和5年3月25日	ホテルテラスザスクエア日立	14期生成果発表会

c 運営委員会 14回

d 交流会 5回

開催日	会場	内容
令和4年 10月14日～15日	久慈サンピア日立他	フロンティアすみだ塾 日立市合宿
令和4年11月4日	山形県長井市	全国若手ものづくりシンポジウム
令和5年1月28日	東京都墨田区	明日のすみだを拓く大交流会
令和5年3月18日	東京都墨田区	フロンティアすみだ塾(第17期)閉講式
令和5年3月18日	東京都八王子市	はちおうじ未来塾 第15期生修了式



第14期生中間報告会（全体会）の様子



(イ) 新規塾生による活動

新規塾生がそれぞれの課題を基にテーマを決め、塾生企業や他地域企業の訪問等の活動を通じて課題解消に向けた研究を実施しました。（新規塾生 3 名）

イ 現場のリーダー研修（管理職向け）

中小企業大学校と連携し、管理職又は将来の管理職候補者を対象に、リーダーシップやコーチングスキル、マネジメントスキルなどを習得する研修会を開催しました。

開催時期	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和4年8月	15名 (15名)	中小企業大学校 東京校 波多野 卓司氏	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの基本行動、自身の価値観、持ち味の整理、リーダーの役割とリーダーシップ ・コミュニケーション力、部下の動機付けのコーチング ・場の活性化、管理者としての問題・課題のフィードバック
令和5年2月	9名 (9名)		

※ 6時間/日 × 3日間 = 18時間の研修

(2) ものづくり技術の強化

ものづくりを主とした中小企業の従業員を対象に、現場で必要となる技術を習得するため、基礎的な研修・講座を実施しました。

ア 図面の見方研修

図面の役割、幾何公差、溶接記号等図面を見る上で必要な知識を習得する研修を実施し、個人及び企業のレベルアップを図りました。

区分	開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
機械編	令和4年 6月20日～22日	14名 (14名)	実務アドバイザー 原 孝介 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・図面の種類、表示方法、記号の意味、読み方、注意点などの解説 ・実際の図面を使用し見方、読み方を指導
	令和4年 8月22日～24日	6名 (6名)		
	令和4年 10月17日～19日	7名 (7名)		
	令和4年 12月19日～21日	6名 (6名)		
製缶・溶接編	令和4年 7月20日～22日	13名 (13名)	実務アドバイザー 塚本 孝夫 氏	
	令和5年 2月15日～17日	9名 (9名)		
電気編	令和4年 11月16日～18日	8名 (8名)	実務アドバイザー 関山 喜郎 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・電気製図一般の解説 ・電気設備機器の外観図、接続図の指導
	令和4年 11月30日～ 12月2日	11名 (11名)		

※ 4時間/日 × 3日間 = 12時間の研修

イ 測定器取扱基礎研修

品質の維持及び向上のためには、正しい「評価」が不可欠であり、また、正しい「評価」を行うために、正しい「計測技術」が必要です。本研修は、測定工具を扱う実務担当者に正しい測定技術を身に付けてもらうためのもので、実際にノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ハイトゲージなどの測定工具を使って製品を測定し、技術の習得を図りました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和4年 7月14日	15名 (15名)	実務アドバイザー 宮田 清美 氏	測定器の種類、用途、測定物の実測
令和4年 7月15日	10名 (10名)		

※ 4時間/日 × 1日間 = 4時間の研修

ウ 機械加工基礎研修

品質の維持及び向上には、正しい機械操作を習得することが必須です。そのため、マシニングセンタを使用して間もない方、これから使用予定の方等を対象に、安全教育から基本操作、プログラミングの基礎といった基本的な内容を習得するための研修会を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和4年 7月25日～ 29日	3名 (3名)	実務アドバイザー 宮田 清美 氏	・マシニングセンタの概要 (特徴、加工の種類、用途等) ・プログラミング (加工手順、切削条件、切削工具の決定等) ・加工実習を通じた機械操作の安全に関する注意点
令和4年 11月28日 ～12月2日	4名 (4名)		
令和5年 1月23日～ 27日	4名 (4名)		

※ 6時間/日 × 5日間 = 30時間の研修

エ 3D-CAD操作技術研修

(ア) 部品等基礎

汎用性が高い3次元CADシステム「SOLIDWORKS」の、作画に関する基本操作方法を実践的に身に付けるための研修を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和4年 7月11日～ 7月13日	3名 (3名)	実務アドバイザー 萩庭 唯久 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ SOLIDWORKSの概要と特徴 ・ SOLIDWORKS基本操作習得 画面構成とメニューバー、ツールバー等の用語解説と操作 ・ 教材「初めての3D-CAD SOLIDWORKS入門」
令和5年 3月22日～ 24日	中止(申込 キャンセル)		

※ 6時間/日×3日間 = 18時間の研修

(イ) 板金・溶接

汎用性が高い3次元CADシステム「SOLIDWORKS」の、板金・溶接図面に関する作成方法を実践的に身に付けるための研修会を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和4年 10月20日 ～21日	3名 (3名)	(株)TEK 長谷山 良典 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ SOLIDWORKS板金講習 ・ SOLIDWORKS溶接講習

※ 6時間/日×2日間 = 12時間の研修

オ 日立アカデミー日立総合技術研修所公開講座共催

(株)日立製作所の社内研修所が平成31年4月に分社化し、(株)日立アカデミー「日立総合技術研修所」として、地域中小企業に対して講座を公開開催しております。地域中小企業が単独では習得する機会の少ない高度な技術研修や、豊富な経験を有する講師陣による初心者にもわかりやすい基礎講座の活用促進を図りました。

講座名	研修期間	受講者数
シーケンスコントローラ活用入門	5日間	2名
トラブルシューティング(制御系基礎)	5日間	1名



研修の様子(測定器取扱基礎研修・現場のリーダー研修)

2 競争力強化に関する事業

(1) 外部専門家等による課題抽出と解決

ア 中核企業創出・育成のための伴走型支援

関東経済産業局の主導する官民合同伴走型支援（プロセスコンサルティング）をモデルとして、中小企業の本質的な課題を見つけ、課題設定からその解決法までを提示する伴走型支援を実施しました。また、並行してプロセスコンサルティングの手法を習得し実践するための職員の育成も実施しました。

実施期間	支援内容	支援対象企業数
令和4年4月～ 令和5年3月 (月1、2回程度)	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問や経営者等へのインタビューを通して、支援企業の課題設定及び解決支援を実施 フォローアップ対象企業については、関東経済産業局及び日立市とともに、企業訪問や進捗状況のヒアリングを実施 	5社 (新規1社、フォローアップ4社)

イ 実務アドバイザー派遣

地域中小企業からの支援要請を受け、技能、技術、管理など様々な課題解決のサポートをするため、中小企業実務アドバイザー（登録者：76名）を派遣しました。（派遣企業数26社）

利用目的	主な実施内容	派遣企業数
ホームページ・他 IT	HP 新規作成／リニューアル、EC サイト	9社
経営支援・競争力強化	補助金申請、事業計画、拡販資料作成	9社
生産管理	生産管理構築支援、システム不具合解消	1社
非破壊検査・教育・設計	資格取得支援、社内教育支援	2社
ISO	認証取得支援	2社
拡販	展示会、拡販	2社
現場改善	5S、機械操作指導	1社

(2) 現場カイゼン・品質の強化

ア 現場改善塾

参加企業の生産現場に専門家を派遣し、5Sを中心とした改善活動を支援するとともに、5Sセミナー及び相互見学会を開催し、各社の課題に応じた5S活動を支援しました。

(ア) ハンズオン支援 支援企業数5社

(イ) 「オグラ式足利流5Sセミナー」開催

開催日	講師	参加者数	内容
令和4年10月27日	オグラ金属(株) 小倉賢大常務	23名	社員が楽しみながら実践できる5S活動のポイントに係るセミナーを開催

(ウ) 相互見学会開催

開催日	参加者数	内容
令和5年1月27日	55名	自社の今後の5S活動に活かすことを目的として、支援企業5社の相互見学会を開催

(エ) 現場改善塾成果報告会

開催日	企業名及び発表テーマ
令和5年2月28日	<ul style="list-style-type: none">・(株)今橋製作所：儲かる5S・(株)ダイニクロ：目で見える管理ができる現場作り・(株)大貫工業所：職場の生産性向上・(株)関根鉄工所：5S現場改善・吉野電業(株)：作業のルールを守る仕組みづくり

イ 品質・環境関連講座

(ア) ISO内部監査員養成

国際認証ISO 9001取得後の品質管理システムの維持向上のため、認証を取得している中小企業を対象に、内部監査員の養成及びレベルアップのための研修会を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和4年 4月18日～ 21日	12名 (12名)	実務アドバイザー 中西 一雄 氏	<ul style="list-style-type: none">・内部監査上ポイントとなる規格要求事項の解説・内部監査の進め方、監査報告書の書き方・不適合指摘、模擬内部監査等
令和4年 5月16日～ 19日	10名 (10名)		

※ 3時間/日×4日間 = 12時間の研修

(イ) 品質管理基礎講座

取引先等に対する信頼性の向上及び品質保証体制の強化を図るため、不良再発防止に重点を置いた講座を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和5年 2月6日～ 9日	12名 (12名)	実務アドバイザー 黒須 祥光 氏	<ul style="list-style-type: none">・不良低減活動の進め方・不良原因を究明する手法・是正処置の進め方、是正処置演習等

※ 3時間/日×4日間 = 12時間の研修

(ウ) 統計的品質管理入門講座

品質管理の関係者を対象に、「QC七つ道具」をベースにした統計的品質管理の初歩的手法を学ぶ講座を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和4年 12月5日～ 8日	8名 (8社)	実務アドバイザー 松本 宏 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・データのとり方、まとめ方 ・母集団とサンプリング、グラフの種類と適用 ・正規分布、管理図、工程能力指数等

※ 3時間/日×4日間 = 12時間の研修



品質管理基礎講座の様子

3 受注・顧客開拓に関する事業

(1) 非対面型営業による販路開拓

安定した企業経営を支える営業体制の強化を図るため、WEBを活用した非対面型のオンライン営業による販路開拓支援を実施しました。

ア セミナー開催

開催日	参加者数	テーマ	講師
令和4年7月12日	23名 (14社)	【営業の仕組みづくりの最新事例】	(株)アイドマ・ホールディングス 西日本統括マネージャー 塩釜 健太 氏
		昨年の事例と R4 活動計画	(公財)日立地区産業支援センター コーディネーター 南 好隆
令和4年9月21日	40名 (24社)	展示会ポスター用キッチンフレイズ講座	専門学校文化デザイナー学院講師 OK Station 代表 大平 久美子 氏
令和5年2月7日	18名 (11社)	キャッチフレイズ講座	専門学校文化デザイナー学院講師 OK Station 代表 大平 久美子 氏



参加企業が作成した展示会用ポスター例

イ 非対面型営業ハンズオン支援（専門アドバイザー派遣）

WEB・動画制作・写真撮影等の専門アドバイザーの中小企業への派遣により、ホームページの制作や更新、セキュリティ向上、WEB上のコンテンツ、展示会等で流す製品説明動画制作に係る取組を支援しました。

- (ア) 実施期間 令和4年8月～令和5年3月
- (イ) 支援企業数 7社
- (ウ) 主な支援内容

企業名	支援内容
東邦殖産工業(株)	ホームページの新規制作
(有)三吉電器工業所	創業70周年記念YouTube動画の製作
アイガ電子工業(株)	会社紹介動画の制作
日立ユニオンデンタル(株)	ホームページ上の発注システム切り替え
(株)吉野電業	新規事業動画の制作
(株)西野精器製作所	ホームページトップ用動画の制作
(株)ダイニクロ	拡販用動画の制作



制作したYouTube動画例

ウ パワーポイントを使った会社PR動画作成実践教室

回数	開催日	参加者数	講師	内容
第1回	令和4年 5月9日～（週3回）	7名	合同会社アズオン 代表 佐野 真理子 氏	【1日目】パワーポイントで作るPR動画の構成やアニメーションの説明
第2回	令和4年 7月25日～（週3回）	7名		【2日目】自社のプレゼン動画の作成ワークショップ、音楽やナレーションの導入方法
第3回	令和4年 11月21日～（週3回）	4名		【3日目】成果発表

※ 3時間×3日間＝9時間の研修

エ J-Goodtech (ジェグテック) ※活用支援

J-Goodtechの掲載情報指導等により、販路開拓支援を実施しました。

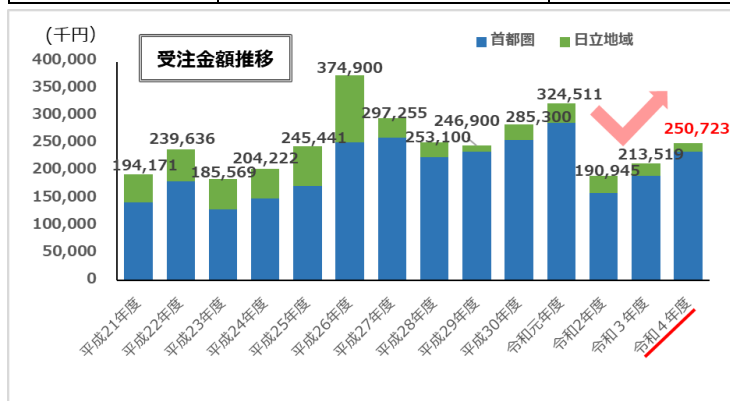
内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> 企業プロフィール充実度向上及び検索上位化による閲覧数増 ニーズ提案の個別提案によるニーズ提案数（商談応募件数）増加支援 	<ul style="list-style-type: none"> プロフィール充実度100%達成企業数 27社→46社（前年度比19社増） ニーズ提案数（商談への応募）：7件→56件

※ J-Goodtech：中小企業と国内外企業をつなぐビジネスマッチングサイト

(2) 首都圏受発注促進

特定の企業からの受注に依存せず、取引先の分散化を図るため、首都圏受発注コーディネーターを配置し、中小企業に対して、首都圏企業からの発注情報を提供するとともに、マッチングのためのコーディネートを実施しました。

項目	首都圏	日立地域	合計
受注件数	25社 145件	2社 28件	27社 173件
うち新規	5社 8件	—	5社 8件
受注金額	235,823千円	14,900千円	250,723千円
うち新規	8,320千円	—	8,320千円



受注金額推移図

(3) 専門展示会出展

中小企業の販路開拓を支援するため、東京都で開催される展示会に当財団でブースを確保し、加工技術や製品などの展示が可能な専門性の高い中小企業と共同出展しました。

展示会名	開催日	会場	出展社数	ブース 来場者数	商談状況
機械要素技術展	令和4年 6月21日～24日	東京ビッグサイト東館	10社	550名	見積依頼10件 商談55件
高精度・難加工技術展	令和4年 10月19日～21日	東京ビッグサイト西館	9社	530名	試作依頼2件 見積依頼7件 商談16件
試作市場	令和5年 2月21日～22日	東京都立産業貿易センター 浜松町館	9社	295名	試作依頼8件 見積依頼8件 商談18件



出展の様子（高精度・難加工技術展・試作市場）

(4) 海外販路開拓

ア ドイツ販路開拓支援

日立地区の中小企業を中心とした企業グループとドイツ・バーデン・ヴュルテンベルク（BW）州の企業群（クラスター）との間でビジネス交流を進め、新規受注の獲得を目指す事業であり、本来であれば、現地渡航での商談支援の事業を遂行する予定でしたが、感染症リスク及び渡航費高騰の影響により企業の参加申し込みがなかったため、代替事業として、担当職員による現地連携機関との交流及び視察を目的とした事業を実施しました。

視察期間	視察場所	内容
令和4年 11月13日～19日	ドイツ・デュッセルドルフ見本市会場及びミュンヘン見本市会場	<ul style="list-style-type: none"> ・BW州担当者と情報交換及び今後の連携について打ち合わせ ・展示会訪問を通じ、ドイツ欧州地域の産業動向を把握 ・コロナ禍収束後の産業交流継続について双方の意思を確認



展示会会場での打ち合わせ後の様子

イ 海外展開を進める企業の経営安定化

商談成功率の向上を目的として、ドイツ地域で受注活動を行う中小企業に対し、専門家による現地企業との商談の事前調整及び通訳を含めた商談サポートを実施しました。

利用企業数	内容	成果
3社	展示会会場等における商談の事前調整及び商談への同席によるサポート	16件の商談支援を実施し、うち5件が商談継続中

4 新製品・新技術開発支援に関する事業

(1) 新たな連携活動推進事業

異なる業種・業界の事業者や団体等が連携し、それぞれの経営資源やアイデアから新商品や新サービスの開発などを検討することで、新事業創出を目指す活動を支援しました。

ア 外部コーディネーターの配置 (2名)

所属	氏名
(同)iiberal (イイベラル)	根本 緑 氏
(株)八千代商事	福地 美喜 氏

イ 事業の実績

(ア) ヒタチマルクト

市内事業者間における業種の枠を超えた新たな連携をより深め、地場製品のブランド力向上と販路開拓を行うため、令和2年度よりヒタチマルクトを開催しております。本イベント開催に伴い、ヒタチマルクト実行員会を運営するため、当財団より連携コーディネーター根本緑氏を委嘱しました。令和4年度は対面式での開催に加え、時間帯を夜にすることでお客様がより参加しやすい方法で実施しました。

また、新たに「みゅーず net」(日立商工会議所内)との連携により、市内女性事業者からの協力を仰ぎ、顧客の拡大などを図りました。

イベント名称	開催日時	開催場所	出展者数	売上金額
ヒタチマルクト Nacht (ナハト)	令和4年9月16日 17:00~20:00	日立市役所 大屋根広場	17店舗	605,310円
	令和4年11月25日 15:00~19:00		15店舗	943,500円



ヒタチマルクト Nacht (ナハト) チラシ

(イ) Business Seminar2023 の開催

令和4年9月、水戸ホーリーホックが県北6市町（日立市、常陸太田市、北茨城市、常陸大宮市、高萩市、大子町）をホームタウンとしたことを受け、地域企業とスポーツチームが連携することによる新たな連携を創出するため、「Business Seminar2023」を開催しました。

開催日	会場	講師	参加者数
令和5年 3月9日	日立地区産業支援 センター	㈱フットボールクラブ水戸ホーリーホック 代表取締役社長 小島 耕 氏	14名

(ウ) 県北ビジネスチャレンジプログラムと連携した新事業の創出と実装に向けた支援

令和4年度から茨城県が㈱しびっくばわー（つくば市）に委託して実施している「県北 Business Challenge Program」（以下、県北BCP）において創出された新事業プランを実証し、早期に実装できるよう支援を行いました。

また、支援に当たっては連携コーディネーター福地美喜氏を配置し、異業種によるプロジェクト推進団体の運営と各関連団体との連携等を頂くことにより、地域内外の事業者が有機的に連携できる体制の構築を行いました。

プロジェクト推進 団体名	チーム八千代商事
新事業プラン名	八千代ピクニック
イベント出展日時	令和5年4月1日～2日（日立さくらまつりに合わせて実施）
出展場所	銀座モール商店街
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・日立の森林で伐採された間伐材を活用し、丸太や家具、木製パレットなどを製作・人工芝などを敷設し、森林を模した空間を演出することで、街中でピクニック気分を味わいつつ、日立市の間伐材の認知度向上を実現



八千代ピクニック出展の様子

(2) 競争的資金獲得

個別のテーマに応じた補助金等申請書のブラッシュアップ及び補助金に係る情報提供など、中小企業が国等の競争的資金を獲得するための支援を実施しました。

ア 補助金申請個別相談

名称	相談件数	採択件数
事業再構築補助金	7件	7件
ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金	3件	3件
合計	10件	10件

※ 10件支援したうち10件ともに採択を受けることができた。(採択率100%)

イ 先端設備等導入計画申請に係る個別相談

相談件数	5件
認定件数	5件

5 経営者への啓発に関する事業

(1) 外国中核人材活用

少子化に伴う人材不足の打開策である外国人材活用に関して、専門的な知見を有する茨城県外国人材支援センター、ジェトロ茨城及びJICA筑波と連携し、下記の事業を実施しました。

ア モンゴル視察ミッション団への参加

新モンゴル学園等の中・長期的な関係性を構築するため、茨城県外国人材センター主催のモンゴル視察ミッション団に管内企業とともに参加しました。

日程	訪問先	参加企業数
令和4年 9月28日～ 10月2日	JICAモンゴル日本人材開発センター、 新モンゴル学園、日本式企業(モン・シバサ キ)、現地企業「Bridge Group」	5社 (株朝日精機製作所、(株関東 技研、(株セイキョウ、(株瀬谷 製作所、吉野電業(株)



新モンゴル学園での企業説明会の様子

イ モンゴル視察ミッション団 報告会の開催

モンゴル国やモンゴル人材の現在を伝えるため、モンゴル視察ミッション団参加者による報告会を開催しました。

開催日	内容	参加者数
令和4年11月29日	ミッション団参加団体、企業による視察報告	53名

ウ 新モンゴル学園 企業と学生の入社面接(オンライン)

開催時期	内容	面接人数
令和4年12月	新モンゴル学園の就職希望の学生と、モンゴル視察ミッション 団参加企業5社 によるオンラインでの入社面接を実施	15名

(2) 次世代産業創造セミナー

国際社会でのSDGsへの取り組みが加速する中、中小企業が社会的なニーズ、課題に対してSDGsを活用するきっかけとするためのセミナーを開催しました。

開催日	講師	参加者数
令和4年11月22日	富所 哲平 氏	15名

6 創業支援に関する事業

(1) MCOインキュベーション

新規創業及び第二創業の促進並びに創業者の事業安定化を図るため、MCO利用者等に対する支援を実施しました。

ア MCO入居状況（令和5年3月31日現在）

101号室	創業準備デスク
102号室	(株)真壁技研
103号室	松本 信也
104号室	アルテサーノ・デザイン(同)
105号室	オフィス里地里山
201号室	
202号室	(株)くじらおか不動産
203号室	
204号室	
205号室	(一財)ミライ健康財団



MCO Micro Creation Office
マイクロ・クリエイション・オフィス

(2) 日立創業支援ネットワーク

国から産業競争力強化法の認定を受けた日立市の創業支援事業計画に基づき、日立市、日立商工会議所及び日本政策金融公庫日立支店と連携して、以下の取組を実施しました。

ア 個別相談会

MCO利用者に加えて地域の創業希望者及び創業間もない方を対象として、専門家による個別相談会を実施しました。

期間	回数	専門家	相談件数
令和4年4月～ 令和5年3月	12回	(有)つくばインキュベーションラボ 取締役 上原 健一 氏	18件

イ 連携機関との協力

- (ア) 連絡会議開催（2回）
- (イ) 日立商工会議所が開催した創業塾への協力

7 情報の収集・発信に関する事業

(1) HITS通信の発信

HITS 通信を毎月発行し、当財団の事業やセミナー等について発信することで、事業者だけでなく市民に対して、日立地区の「ものづくり」を身近に感じてもらう機会を創出しました。



10月号	AM 事業研究会 MTG2022' 夏 開催 『削る』から『積み重ねる』
11月号	IoTという言葉、聞いたことありますか? DIY でシステム作り!!
12月号	「モンゴル視察報告会」 モンゴルでの出会いを求めに...
1月号	今、あなたの周りはきちんと整理されていますか? - 5Sとは -
2月号	次世代経営者発掘・育成塾 ひたち立志塾 - ひたち立志塾とは -
3月号	新規顧客開拓に挑戦! 令和4年度に出展した展示会

(2) SNS・ホームページ・メールマガジン・ダイレクトメールによる発信

各種事業のPR、公募、成果報告について、SNS、ホームページ、メールマガジン、ダイレクトメールを活用し、効果的な情報発信を実施しました。

(実績値はいずれも令和5年3月31日現在)

ア SNS

媒体名	投稿数	閲覧数
Instagram (インスタグラム)	218 件	56,579 件
Facebook (フェイスブック)	218 件	42,330 件
YouTube (ユーチューブ)	19 件	1,243 件



Instagram
QRコード



YouTube
QRコード



Facebook
QRコード



SNS掲載例

イ ホームページ・メールマガジン・ダイレクトメール

ホームページ	情報掲載回数	62回
	訪問者数	27,201件
メールマガジン	発行回数	24回
	登録者数	451名
ダイレクトメール発送数		23回、延べ7,811件

(3) 新聞記事掲載

当財団の事業活動について9件の新聞記事掲載があったなど、取組及び成果の情報発信を実施しました。

掲載日	媒体名	内容
令和4年6月11日	茨城新聞	脱炭素化相談窓口
令和4年6月20日	日刊工業新聞	機械要素技術展出展
令和4年6月29日	日本経済新聞	県北BCP開催
令和4年10月4日	茨城新聞	I o T勉強会開催
令和4年10月12日	日刊工業新聞	高精度・難加工展出展
令和5年1月10日	茨城新聞	AM研究会
令和5年1月25日	茨城新聞	ものづくり交流会開催
令和5年1月25日	日本経済新聞	ものづくり交流会開催
令和5年3月22日	茨城新聞	インターンシップ事業

(4) 企業訪問

当財団事業の利用促進を図るため、組織的、計画的な企業訪問を行いました。個別事業の案内を行うほか、各企業の課題や当財団に対する要望を把握し、個別企業に応じた対応策の提案を実施しました。

市内企業	325社
市外企業	78社
合計	403社

8 財団の運営・施設の管理

(1) 組織

ア 役員等

(令和5年3月31日現在)

役職名	現員数	備考
評議員	7名	
理事	7名	理事長 1名 副理事長 1名 常務理事 1名
監事	2名	

イ 職員

(令和5年3月31日現在)

職名等	常勤	非常勤	委嘱	計
常務理事(センター長)	1			1
事務局長	1			1
チーフコーディネーター	1			1
係長	1			1
コーディネーター	5	4		9
I o Tコーディネーター			1	1
AM事業コーディネーター			1	1
技術シーズ活用コーディネーター			1	1
首都圏における受発注コーディネーター			1	1
機械操作指導員			1	1
係員	2	1		3
計	11	5	5	21

ウ 理事会・評議員会

会 議 名	開 催 日 (みなし決議日)	案 件
令和4年 第2回通常理事会	5月26日	議案第4号 令和3年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告及び決算について 議案第5号 公益財団法人日立地区産業支援センター職員、任期付職員及び非常勤職員の給与改定に伴う関係規程の一部を改正する規程の制定について 議案第6号 令和4年定時評議員会の開催について 報告第2号 業務執行理事の職務執行状況について
令和4年 第2回臨時理事会	(6月28日)	議案第7号 令和4年第2回臨時評議員会の開催について
令和4年 定時評議員会	6月28日	議案第3号 令和3年度公益財団法人日立地区産業支援センター決算について 報告第2号 令和3年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告について
令和4年 第2回臨時評議員会	(6月30日)	議案第4号 評議員の選任について
令和4年 第3回臨時理事会	(12月20日)	議案第8号 令和4年第3回臨時評議員会の開催について
令和4年 第3回臨時評議員会	(12月23日)	議案第5号 評議員の選任について 議案第6号 理事の選任について
令和4年 第4回臨時理事会	(12月28日)	議案第9号 公益財団法人日立地区産業支援センターの副理事長の選定について
令和5年 第1回通常理事会	2月21日	議案第1号 令和5年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業計画及び収支予算について 議案第2号 公益財団法人日立地区産業支援センター職員、及び任期付職員の給与改定に伴う関係規程の一部を改正する規程の制定について 報告第1号 業務執行理事の職務執行状況について
令和5年 第1回臨時理事会	(3月28日)	議案第3号 令和5年第1回臨時評議員会の開催について
令和5年 第1回臨時評議員会	(3月31日)	議案第1号 評議員の選任について 議案第2号 理事の選任について

(2) 公共施設の管理

ア 利用状況

(ア) 総数

利用件数	1,062 件
利用者数	11,510 名
使用料収入	4,841,460 円

(イ) 目的別利用状況

使用目的 / 区分	件数 (件)	比率 (%)	人数 (名)	比率 (%)
見学	0	0	0	0
会議	543	51.1	10,502	91.2
機器利用	299	28.2	646	5.6
相談	125	11.8	169	1.5
情報交換・打合せ	9	0.8	13	0.1
その他	86	8.1	180	1.6
合計	1,062	100	11,510	100

イ 機器更新及び修繕等の状況

更新・修繕日	内容
令和4年5月11日	MCO空調修繕
令和4年7月29日	MCO扉修繕
令和4年9月1日	事務室空調修繕
令和4年9月30日	外壁改修(市予算)
令和4年11月30日	エレベーター修繕
令和4年12月22日	万能試験機更新(市予算)
令和5年2月2日	マシニングセンタ開閉扉修繕
令和5年3月9日	大研修室誘導灯修繕
令和5年3月10日	駐車場外灯修繕
令和5年3月31日	温湿度振動複合環境試験装置の水漏れ修繕



万能試験機